

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公表番号】特表2020-523642(P2020-523642A)

【公表日】令和2年8月6日(2020.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2020-031

【出願番号】特願2019-569377(P2019-569377)

【国際特許分類】

G 02 B 5/08 (2006.01)

B 32 B 7/023 (2019.01)

B 32 B 9/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/08 A

B 32 B 7/023

B 32 B 9/00 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月1日(2021.6.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

0.300 μm ~ 15 μm の波長範囲で使用するための高反射鏡(10)であって、

前記高反射鏡(10)は：

基板(14)；

第1の界面層(18)；

反射層(22)；

第2の界面層(26)；

低屈折率材料と高屈折率材料との組み合わせを含み、前記高屈折率材料はHfO₂を含む、複数の調質層(30)；並びに

保護層(42)

を備え、

前記高反射鏡(10)は、入射角(AOI) = 45°において、335 nm ~ 1000 nmの波長範囲にわたって少なくとも90%の反射率を有する、高反射鏡(10)。

【請求項2】

前記高反射鏡(10)は、AOI = 45°において、340 nm ~ 400 nmの波長範囲にわたって少なくとも90%の反射率を有する、請求項1に記載の高反射鏡(10)。

【請求項3】

前記第1の界面層(18)は0.2 nm ~ 50 nmの厚さを有し、Al₂O₃、TiO₂、ZnS、MgF₂、AlF₃、Ni、モネル(Ni-Cu)、Ti、Pt、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1に記載の高反射鏡(10)。

【請求項4】

バリア層(46)を更に備え、

前記バリア層(46)は、耐腐食層、耐摩耗層、応力調整層、又はこれらの組み合わせを含む、請求項1から3のいずれか1項に記載の高反射鏡(10)。

【請求項5】

前記バリア層(46)は、 Si_3N_4 、 SiO_xN_y 、 SiO_2 、 CrN 、 NiCrN 、 Cr 、 NiCr 、 Ni 、ダイヤモンド様炭素(DLC)、又はこれらの組み合わせを含む前記耐腐食層、もしくは Si_3N_4 、 SiO_xN_y 、 SiO_2 、 AlO_xN_y 、 AlN 、 YbF_3 、 YbF_xO_y 、ダイヤモンド様炭素(DLC)、又はこれらの組み合わせを含む前記耐摩耗層である、請求項4に記載の高反射鏡(10)。